

「鈴鹿・F1前夜」の衝撃

鈴鹿サーキットでF1日本グランプリが初開催されたのは1987(昭和62)年のこと。

実はその前年に、当時最新のF1マシンが鈴鹿サーキットで大観衆の眼前を駆け抜けたことをご存じでしょうか。

1986(昭和61)年11月2日、舞台は全日本F2選手権シリーズ(現在のスーパーフォーミュラに該当)最終戦「JAF鈴鹿グランプリ」。このレース時にデモランを実施したのが、同年のF1世界選手権でコンストラクターズ(製造者)チャンピオンを獲得したウィリアムズ・ホンダFW11。ドライバーは、ネルソン・ピケ選手(ブラジル)でした。1500ccV6ターボの咆哮とともにコースインしたピケはスーパーラップを連発し、当時のF2コースレコードを実に10秒以上も上回る1分43秒119をマークしました。最後には豪快なスピンターンを披露し、5万7千人の観客を驚愕させました。

翌年からの鈴鹿サーキットでのF1開催が発表されたのは、その数週間後のことでした。「鈴鹿・F1前夜」の衝撃。世界が確実に近づいてきた時代でした。

■中野能成

(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

ウィリアムズ・ホンダFW11B
(FW11の進化モデルで、1987年に鈴鹿サーキットでピケがドライバーズチャンピオンを獲得したマシン)



地域づくり
研修生が
つくる

地域のホットな情報をお届け

地域づくり Navi

vol. 59

一ノ宮地域づくり協議会

「文化体育振興部会」の活動

「住んでよかった一ノ宮」をスローガンに一ノ宮地区では、住民自らが住みよい地域を創るために日々活動しています。

4つある部会の1つ、文化体育振興部会では、地域の伝統「いちのみやまつり」など地域の歴史文化の継承や、地域住民が交流する「ティラノサウルスレース」など体育行事などの活動をしています。イベントに参加してもらい、地域の文化や人と触れ合うことで、一ノ宮地区に「住んでよかった」と思えるよう取り組みを進めています。

取り組みの様子

「いちのみやまつり」では、鈴鹿市の無形民俗文化財である中戸流獅子舞が都波岐奈加等神社の拝殿で舞う姿に、観客の皆さんから大きな拍手が起こっていました。

ティラノサウルスレースでは、成獣の部(小学生高学年程度～成人)や幼獣の部(小学生低学年程度まで)があり、幅広い世代が走りにくいスーツを身に纏って、全力疾走する姿に会場は大盛り上がりでした。



地域づくり Photo

拝殿で舞う
中戸流
獅子舞



全力で走る
ティラノ
サウルス
レース



地域づくり研修生の一言

本殿を背に舞う獅子が拝殿内の雰囲気と相まって神秘的でした。

ティラノサウルスレースは、着ぐるみを被って走ることで年齢や体力に関係なく誰でも参加できる企画内容が魅力的だと思いました。

問合せ 地域協働課 ☎059-382-8695

明治11年 創刊
三重の県紙

伊勢新聞

購読のお申し込みは、お近くの販売店へ。
お問い合わせは、伊勢新聞社へ。(☎059-224-4400)

●広報すずか

●鈴鹿市ウェブ

広告募集中

ご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社 亜細亜エンタープライジズ

〒513-1124 三重県鈴鹿市自由ヶ丘一丁目17番1号

TEL 059-374-0170 FAX 059-374-3718

担当: 竹尾 pacific.take@gmail.com

※お問い合わせ時に掲載広告枠が埋まっている場合もございます。悪しからずご了承ください。

